

平成 29 年 6 月 20 日

麗 澤 大 学

第 5 回 高校教員のための「道德教育講座」

開催日時：平成 29 年 8 月 24 日（木） 13 時～17 時 00 分

開催場所：麗澤大学 校舎あすなろ 2505 教室

メインテーマ：「『道德』の教科化と道德授業への提案」

プログラム：

13:00～13:05 開 会 / 主催者挨拶

13:05～14:05 「『自覚』の説明方法 中学校学習指導要領・内容項目Cをめぐって」
川久保 剛 准教授

14:05～14:15 休 憩

14:15～14:45 「千葉県立浦安高校における道德教育実践報告」 岸 幸男 教諭

14:45～15:15 「茨城県立緑岡高校における道德教育実践報告」 渡邊哲郎 教諭

15:15～15:30 ティータイム

15:30～16:15 情報交換会（グループ別懇談）

16:20～16:50 情報交換内容の発表（グループ別）

16:50～17:00 まとめ（麗澤大学）

情報交換会は1グループ最大で6人を想定。

グループは勤続年数、道德授業担当の有無、年齢等によるグループ分けを想定。

情報交換会のテーマは「参加者の高校における道德教育の現状と課題」を予定。

講 師：岸 幸男（千葉県立浦安高等学校 教諭）

渡邊哲郎（茨城県立緑岡高等学校 教諭）

川久保 剛（麗澤大学 准教授/道德科学教育センター 副センター長）

主 催：麗澤大学道德科学教育センター

共 催：公益財団法人 モラロジー研究所

後 援：千葉県教育委員会、茨城県教育委員会

申込方法：《方法1》別紙「受講申し込み票」に必要事項を記入してFAXにて申し込み

FAX 04-7173-1100

《方法2》麗澤大学の以下のWebページより申し込み

<https://www2.reitaku-u.ac.jp/cmsekoza3602>

申込締切：平成 29 年 8 月 10 日（木）

問合せ先：麗澤大学 学長室 TEL 04-7173-3602 / FAX 04-7173-1100

担当（生方・岡野・阿部）

http://cmse.reitaku-u.ac.jp/social_activities/kouen/201705110944_3514.html

平成 29 年度 高校教員のための道德教育講座 講義概要

1. 『『自覚』の説明方法 中学校学習指導要領・内容項目 C をめぐって 』

川久保 剛（麗澤大学外国語学部 准教授）

中学校学習指導要領道德編の項目 C 「主として集団や社会との関わりに関すること」の中には、「家族の一員としての自覚」、「学級や学校の一員としての自覚」、「地域社会の一員としての自覚」、「日本人としての自覚」、「世界の中の日本人としての自覚」というように、「自覚」という表現が頻出し、強調されています。では、この「自覚」とは、一体どのような自己のありようを意味しているのでしょうか。今回は、「自意識」との対比において、「自覚」という概念について考えてみたいと思います。それにより、内容項目 C の全体を貫く考え方について明らかにすることができるものと思われま

2. 千葉県における道德教育実践報告

「生徒の実態に合わせた高等学校道德読み物教材集『明日への扉』の活用方法について」

岸 幸男（千葉県立浦安高等学校 教諭）

昨年度、千葉県教育委員会から本校が「特色ある道德教育推進校」に指定され、1 年生で道德の授業を公開することになりました。授業では千葉県教育委員会が作成した高等学校道德読み物教材集「明日への扉」を使用することになりました。この教材集は指導案が入っている CD がセットになっていますが、本校生徒の現状・実態を考えるとそのまま活用するのは難しそうだったので適宜変更を行いました。講義では生徒の実態に合わせてどのように指導案を工夫したかということと、授業での生徒の取り組みの様子について実践報告をさせていただきます。

3. 茨城県における道德教育実践報告

「生徒の実態に応じた段階的な道德教育への取り組みと、本校での実践報告について」

渡邊 哲郎（茨城県立緑岡高等学校 教諭）

本県では、平成 19 年度から、第 1 学年において「道德」が始まり、11 年目を迎えました。また、昨年度から第 2 学年において「道德プラス」が行われています。今回は、まず本県における「道德」と「道德プラス」の内容を説明させていただきます。そして、私が行ってきた実践を紹介しながら、「道德」や「道德プラス」が普段の授業や HR にどのような影響を与えているかを考えたいと思います。また、道德教育の課題である評価についても現段階での報告をさせていただきます。皆様と道德教育について一緒に考え、より実りあるものとなるような報告ができればと思います。